



TOHOKU
UNIVERSITY

International Program in Liberal Arts

第1回チューター活動ガイダンス

高度教養教育・学生支援機構
グローバルラーニングセンター
末松和子

IPLAとは？

- 2010年に開始した人文・社会科学系交換留学プログラム
- 東北大学の大学間学術交流協定校（約200校）から優秀な留学生を6～12か月間招聘
- 参加者2025年前期: 90人*3/12時点
内訳：フランス17名 台湾12名 中国11名 スペイン7名 アメリカ5名 ドイツ5名 韓国5名 イタリア4名
フィンランド4名 スウェーデン3名 香港3名 オーストラリア2名 スイス2名 タイ2名 マレーシア2名
イギリス1名 インド1名 ウズベキスタン1名 オランダ1名 ベトナム1名 ルーマニア1名
- 修了要件：15単位（通年30単位）/修了発表会参加、スライド提出

設置の経緯より、大学から手厚い支援を提供（IPLANET、研修旅行等）

I P L A 生とは？

- 約7割が欧州（フランス、ドイツ、スウェーデン、スペイン、イタリア等）
- 英語圏出身者は少数派だが増えつつある（カナダなど）
- 出身大学でも留学生のケースもあり
- 出身大学では大学院生の学生、社会人経験のある学生など多様
- 日本語を全く話せない学生から上級者まで様々
- 専門はマジョリティが文系、理系や文理融合学部の学生も
- 全員が学生寮（三条町と青葉山）で生活
- 奨学金受給者と私費留学生が混在

IPLA ・ IPLAの特徴

- 単位を持ち帰りたい、しかし日本滞在を満喫したい傾向
- 「修了要件」15単位/学期（うち国際共修科目4単位）
- ほぼ全員が日本語教育科目を履修
- 日本語学習に躓く学生が一定数いる（レベル2～4）
- IPLAの授業はグループワーク、プレゼン、レポートが多く、講義&試験形式に慣れている学生は戸惑うこともあり
- 教育システムへの適応に時間がかかる学生もいる（授業時間外のグループワーク、週末の学習活動、クリスマスにも授業！）
- 6, 7月頃から休暇モードに入ってしまう学生も
- 近年は合理的配慮対象の学生が急増

チューター制度とは？

- 活動内容：日本語学習支援、専門分野における学習支援、生活適応支援
(**支援活動**のみ謝金支給対象となる)
- 委嘱期間：春学期 3月下旬～8月末、秋学期 9月下旬～2月末
※今期は3月21日～ 8月31日を予定
- 活動時間：週 2 時間程度の定期的な支援活動
 - ★謝金支払いの対象となる活動の上限は原則 **1 学期あたり 4 8 時間**
(活動が謝金の支給対象となるかは活動報告書の内容をもとに判断)
 - ★チューター活動は、日常的な学習・生活支援を主目的とするため
22時以降の深夜時間帯の活動は急を要する場合を除き控えてください。
- 謝金： 1 時間あたり1,000円 ※学部・大学院共通
支払いは学期ごと（前期分は10月末）
- 活動報告：**活動日ごと**に報告書を入力のうえ提出

チューター制度とは？

提出書類: Google Formにて提出

【学期初めに提出】

- ①銀行振込依頼書
- ②扶養控除等申告書：データ(PDF)にて提出

※押印不要

【毎月提出】

- ③活動報告書：活動日ごとに提出

所定のGoogle Formにて提出

締切厳守！締め切りまでに提出がない場合はその月の謝金は支払われない場合があります。

留意事項

日本語の授業で分からないところを
教えた→日本語学習支援

冷蔵庫の使い方（氷の作り方）が分
からない、自転車の買い方が分から
ない→生活適応支援

**短時間であっても定期的（週1～2回）な活動が
留学生の学習や環境適応に効果的です。**

留学生にとっては一生に一度の留学。

その充実度がチューター活動の質に大きく左右されます！

◎部活、就活、その他の活動で忙しくなるかも
しれない人は、今のうちに申し出てください！

留意事項

＜活動時間・謝金＞

- 1回の活動時間は2時間を目安とすること
- 単なる娯楽、飲食など、自分も楽しむ目的の活動は謝金対象外
- 報告書の記載不備は謝金対象外となる場合があるので注意

＜留学生とコミュニケーションをとるポイント＞

- チューターから積極的にアウトリーチ
- すぐに連絡が取れる手段を確保（LINEなど）
- お互いの授業が確定したら、毎週のミーティングをルーチン化
- 支援が必要な時だけ会うのではなく、継続して活動する



留意事項

＜支援活動＞

- 留学生のニーズは適応状況に従い変化するので、留学生が必要とする支援を定期的に確認する (特に渡日直後や渡日後1ヶ月は要注意)
- 留学生となるべく日本語を使って話すこと
(留学生のニーズや日本語レベルに合わせる)
- 自分の外国語力を高める目的で活動を行わないこと
- チューターの役割は
 - ・ 留学生の自立支援→留学生が依存しすぎることなく、最終的には自分でできるようにサポートする
 - ・ ネットワーク拡大支援→チューター以外の友人も作る機会を
どんどん作る (例：部活に連れて行く、自分の友人に紹介する)



TOHOKU
UNIVERSITY

留意事項

- 守秘について（身体の健康に関すること、**法令違反の可能性がある**ことなどは、本人の了解なしでも相談を）

2017年度、違法薬物に関与した留学生7名が逮捕。

東北大学では、懲戒退学、取得単位、研究活動の取り消し、奨学金の全額返還の処分。

あへん、コカイン、ヘロイン、大麻、覚せい剤、向精神薬等の所持・使用は絶対禁止。
誘惑にも乗らない。



- 宗教的・文化的タブー等に注意（ムスリム学生、LGBTQ+等）
- 金銭・口座の貸し借りは絶対しないこと
- アルバイト→勉学や課外活動に集中することを確認した上での許可制。
留学生には、法律により制限が設けられている職種や勤務時間数があるため
チューティから質問を受けた時はアドバイザーに相談するよう助言
- 運転は事故の対応が大変なので、大学としては奨励していない
- 寮のルールを守るよう支援（退寮→プログラム強制終了）
- プログラム終了後＝修了発表会後は速やかに帰国(春：8月末、秋：2月末)

留意事項

＜留学生へのサポートが必要なケース＞

- 寮費、公共料金、国民健康保険等の滞納 → 忘れがち、放置しがち
- 学業不振、欠席 (他の人に口外せずに守秘徹底をお願いします)
- 体調不良が疑われる場合
- その他、留学生と連絡が取れない時

生活が落ち着く頃にホームシックになる学生もいる。気になる変化は、早めの共有を。

東北大学 留学生ヘルプデスク

International Student Help Desk

The International Student Help Desk is a support corner that aims to answer questions from all international students related to academics, campus life, daily life, translation support, etc. Staff at the Help Desk are Tohoku University students themselves.

TOP > For International Students > Support > International Student Help Desk

International Student Help Desk (in Japanese)

The International Student Help Desk is brand new corner that started in April 2019 which aims to support international students not only with their campus life but also concerning daily life in Japan.

Here are some common questions we receive:

- How can I connect to the eduroam Wi-Fi?
- What does this letter that I got in the mail mean? (Pension, health insurance, bank account, etc.)
- Where can I find information about part-time jobs, scholarships and housing?
- How can I apply for a credit card?



Staff at the Help Desk are all fellow Tohoku University students. All of the staff can speak Japanese and English, and also their native languages such as Chinese, Indonesian and Korean.

The Help Desk staff have various resources to answer your questions and they can even share their own experiences with you. We support international students by using both face-to-face and online services.

本学にはチューター制度以外にも多様な支援があるので、積極的にヘルプデスク等の活用を促すこと。

- 川内キャンパス
- 青葉山新キャンパス
- 青葉山東キャンパス

<問い合わせ先>

helpdesk@grp.tohoku.ac.jp



TU Support

東北大学






English

[来日前の確認・準備](#)
[来日後の手続き・情報](#)
[在留資格 \(COE/査証\)](#)
[本学を離れる](#)
[キャンパスライフ](#)
[仙台で暮らす](#)
[その他](#)



国際サポートセンター
International Support Center

国際サポートセンターについて

東北大学国際サポートセンター (ISC)へようこそ！
当センターは、2022年4月に設立され、東北大学の留学生、外国人研究者、教員を総合的に支援しています。
渡日時の渡航手配や宿泊先の確保、区役所等での手続き、銀行口座の開設、賃貸物件探しまで、本学にお迎えする留学生や外国人研究者の方々が安心して研究・教育活動に専念できるよう適切な支援を提供することを目的としています。

COVID-19 Information

- 日本時間4月29日午前0時以降に日本に入国する場合には、有効なワクチン証明書又は出国前検査証明書の提示は不要となりました。（最新検疫措置まとめページ）（2023.4.28更新）
- 渡日予定の留学生のみなさんへ（2023.4.28更新）
- 新型コロナウイルス感染拡大への対応・支援についてのリンクまとめ



来日前的確認・準備

出発前に準備、確認しておくべき情報についてご案内しています。



来日後の手続き・情報

仙台に到着した後に行う手続きについてご案内しています。



在留資格 (COE/査証)

査証の取得に必要な在留資格認定証明書 (COE) 取得や来日後の在留資格の変更等についてご案内しています。

国際サポートセンター

（川内北キャンパス）

<問い合わせ先>

supportoffice@grp.tohoku.ac.jp



チューター謝金支給対象活動内容の可否

①日本語学習支援であること
③生活適応支援であること

②専門分野における学習支援であること
④リアルタイムの活動であること

活動内容	可否	留意事項等
- 区役所・銀行での手続き、携帯電話契約の補助 - 授業内容の復習、応用練習の補助 - 学食で食事をしながら日本語の会話練習	○	
レストランで食事をしてそのあと買い物	△	注文のしかたを教える、留学生一人では難しい買い物を補助するなど
- 一緒に行事やパーティーに参加 - 一緒にお出かけ（旅行）に行った	△	通訳等といった支援活動が含まれるかどうか
留学生の母語を教えてもらう	×	支援活動ではないため
- 授業の発表レジュメをメールで添削指導 - SNSでのテキストだけのやりとり	×	謝金の支給対象となるのは活動実態・活動時間が明確に把握できるリアルタイムでの支援のみ
Zoomなどのビデオ通話を使ったオンライン活動	○	

チューター謝金支給対象活動例

謝金支給対象ではない活動 ≠ 活動不可

- 友人としての食事、ショッピング、映画鑑賞などで関係がぐっと縮まるのも事実
 - チューター活動として「報告」するのは支援のみ
- × 食事をした。
- 食事をしながらレストランでの注文の仕方や食事のマナーを紹介した。

活動報告書について

- 毎月7日(土日祝日の場合は次の平日)までに前月活動分の報告書を提出
- 活動0時間でも提出必須
- ひと月分の報告書に、その前後月の活動内容を書かないこと
- タイプした電子版報告書(Google Form)に入力し留学生課へ送付

<提出前に確認>

- 活動日時と時間数に誤りがないか？
- 謝金対象となる活動内容が具体的に記載されているか？

活動内容が分かりにくい報告書（例：情報が少ない、その前の活動内容のコピペ）は、内容を確認させていただく場合があります。

活動報告書例

①どこで(Where)、②何を(What)、③どのように(How)をちゃんと書くこと！！

①～③のうち1つでも欠けていれば謝金の対象とはなりません。

×悪い例

- 日本語の勉強をした。→ 短すぎる。活動内容はより具体的に！
- ラーメンを食べに行った。→ 飲食が目的になるとNG
- 一緒に映画を観に行った。→ 自分も楽しむ活動は支援ではない
- 一緒に旅行をした。IPLANETのイベントに参加した。→ 支援であることが確認できない

◎良い例

- 図書館で日本語の授業で習った助詞の使い方の復習をした。その後、美術館を見学しながら週末の過ごし方について話をしたが、助詞の使い方に気をつけながら会話をした。

活動報告書例

【事例①】

まず自己紹介をしました。互いの国について紹介しました。次に仙台にきたら何をしたいか話しました。動物が好きなので動物と触れ合うところに行きたいそうです。また、曜日を表す漢字と読み方、ひらがな、カタカナ、午前午後、挨拶についてスペルも含めて伝えました。会話のときに積極的に使ってくれました。また、やりたいサークル活動について冊子を使いながら相談しました。

→「どこで」が抜けているので明記する必要あり「どのように」が具体的でよい。自分が教えたことを会話の中で使っているという結果は「どのように」とは異なるが、活動内容と関連した非常に大事な事実なので◎

【事例②】

日本語の授業で分からなかったところの補足説明をしました。「~のようだ」などの喩えの使い方を例文を提示しながら説明し、納得してもらえました。「~のように」「~のような」など、派生表現の使い分けも解説しました。その後は動画や画像を共有しながらお互いの国の昔話を日本語を使って教え合いました。

→「どこで」が抜けしているので明記。

【事例③】

買い物での会計で隣に立って、留学生が一人でレジで買い物をするのを見守り、必要な場合サポートした。「袋はご利用ですか」、「レシートはいりますか」などのよく使われるフレーズを教え、どのように答えれば良いかなども教えた。

→「どこで」が抜けているので明記。

活動報告書例

【事例④】

宿題と教科書の復習の手伝い。今日は読解や作文の課題はなく、文法や語法の意味・使い方確認を問題を解きながら行った。一緒に課題を見て、まず問題文と選択肢の意味を確認し、チューティーに答えを推測させたあと、回答を確認するという流れだった。復習の方は、質問に答えながらノートにまとめてもらった。詳しい内容としては、授受や使役、義務などの動詞の表現バリエーションだけでなく、「○○なんか/なんて」「～ばかり」などの特徴的な表現などの項目もあった。

→「どこで」が抜けているので明記。

【事例⑤】

病院の診察へ付き添いに行った。医師や看護師、薬剤師さんとのやりとりを仲介し、診察内容や薬を服用する際の注意点などを英語で説明した。

→問題なし。良い活動報告書例。

【事例⑥】

日本のトイレと浴室とフィンランドのバスルームの違いを話した。フィンランドではバスタブはなく、代わりにサウナが一家に一つある。日本ではバスタブでお湯に浸かり、入浴剤を使うことを話した。豆乳があったので勧めたら、何かわからなかいようだったので教えて、少し試食してもらった。八幡宮に興味があるということで八幡神社と一緒に歩いて行った。

→前半の「どこで」が抜けているので明記。生活適応支援をしたことがよく分かり◎。

活動報告書例

【事例⑦】

てんぷらを一緒に食べに行って、てんぷらのメニューを教えた。シシャモ、柏、長芋、牡蠣など教えた。また、キノコの種類も教えた。

スキンケアを教えてほしいということだったので一緒にドラッグストアに行った。

自分のおすすめのものの効果など教えたり、肌が敏感ということでどのような成分が入ってるか教えた。

漢字が読むのが苦手ということもあり、パッケージの読み方を教えたり、意味を教えたりした。

→問題なし。良い活動報告書。

【事例⑧】

自分が所属しているバドミントンのサークルと一緒に参加した。プレーをしていない間には先週末は何をしていたかや今週末の予定について日本語で話した。特に最近の天気の寒暖差について話した。また1年で一番日が長い夏至のことを紹介した。

→「サークルに行った」は支援とはいえないが、日本語での会話を積極的に行い会話力を磨く、夏至について日本語で理解を深めるということが書かれていたので◎

留学生の生活適応支援について

渡日直後～生活面に関するサポート

- IPLA生が仙台に到着後の出迎えサポート
- 生活用品・食料品等買い物のサポート
→最寄りのスーパー、コンビニ、量販店、レストランなど、生活基盤を整えるために必要なものの買い出しや、地下鉄・バスの乗り方などを教える

※ベジタリアン等、個別対応が必要となる場合があるので注意

渡日直後～生活面に関するサポート

渡日後の住民登録・口座開設・保険支払

- ・留学生課とJTBスタッフが対応＝基本的にチューターのサポートは不要

留学生に頼まれても、同行せずに留学生交流係(Student Exchange Division)にメールを送るように伝える

Contact Form : <https://bit.ly/3wpc3g6> (その場で一緒にメールを送るか、代理で送るのを確認する)

- ・IPLA生向け渡日後の手続きに関するサイト(3/1に学生へ案内済)

Getting Started in Japan:

https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/exchange/getting_started_in_japan/

【住民登録】

- ・事前に指定されたサイトより学生自身が予約し、区役所へ行き、住民登録及び年金免除手続きを行うよう留学生課から学生へ指示

渡日直後～生活面に関するサポート

渡日後の住民登録・口座開設・保険支払

【口座開設】 ※区役所手続きを完了していることが条件

- ・ JASSO奨学金受給対象者はゆうちょ銀行口座開設必須なので、大学側が口座開設サポートを受ける場所・日付を指定し学生へ通知
- ・ 大学側がデバイスを用意しているので、JTBスタッフと一緒にアプリを使用しゆうちょの口座開設を行う

【保険支払】 ※口座開設前に保険支払してもOK

- ・ オリエン前もしくはオリエンの際にIPLA生へ渡される“Welcome Package“に保険支払票が2枚入っているので、学生自身がゆうちょ銀行ATMへ行き、[ガイド](#)を参照しながら保険料支払い(2種類)を完了させる
- ・ ATM支払い完了後、ATMから出るレシートの写真を撮り、Google Form(Getting Startedのサイトにリンク有)より学生に提出させる。

※一人でATM支払ができないIPLA生からサポートを依頼される場合があるので、サポートをお願いします。

相談窓口

IPLAチューター活動についての悩みや
チューター制度や謝金などに関する問い合わせ

<問い合わせ先>

- 末松 和子 教授 : kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp
- 渡部 留美 准教授 : rumi.watanabe.c5@tohoku.ac.jp
- 新見 有紀子 講師 : yukiko.shimmi.e8@tohoku.ac.jp
- 留学生課留学生交流係 : studyab@grp.tohoku.ac.jp

オリエンでIPLA生へ通知すること

Requirements for Completion

Spring 2025

- 15 credits for those who will be studying in person
 - 4 mandatory credits from ICL Course

(=Intercultural Collaborative Learning Courses) *Please see the link below.
- Submission of slides and attendance at the final presentation

Course offering:

https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/exchange/ipla/ipla_curriculum_1/



TOHOKU
UNIVERSITY

Calendar for the Spring Semester

- Class starts: **Apr.8**
- Academic Counseling: At the Beginning of Apr. (Office hours)
- Online Registration Deadline: **Apr.21**
- Deadline for Withdrawal: **May 9**
- Field Trip: **April 19**
- Final Presentation: **Aug. 5**
- Class ends: **Aug.5**
- Dormitory Move-out: **Aug. 29**

Tohokudai* ID & Password

DCMail

✓Forgot ID/Password?

***Tohokudai=Tohoku University**
Please check the below:

▪ **Technical Assistant information**

▪ **FAQ (Tohokudai ID ▪ Online Class ▪
VPN ▪ Others)**

Start using university-
wide email (student
email, DCmail)

*Click an image for
more information.

Access to Center for Data-driven Science and Artificial Intelligence, Tohoku University

Location / Postal Address

Multimedia Education and Research Complex, Tohoku University

Kawauchi 41, Aoba-ku, Sendai, Japan, 980-8576



If the above does not resolve the issue, please contact your Program Coordinator: studyab@grp.tohoku.ac.jp

- ✓Instructions/guidelines provided by
Tohoku University and academic advisors.
- ✓Checking DCMail and Websites

Getting Started in Japan



To start the semester

Current Students



While in Japan

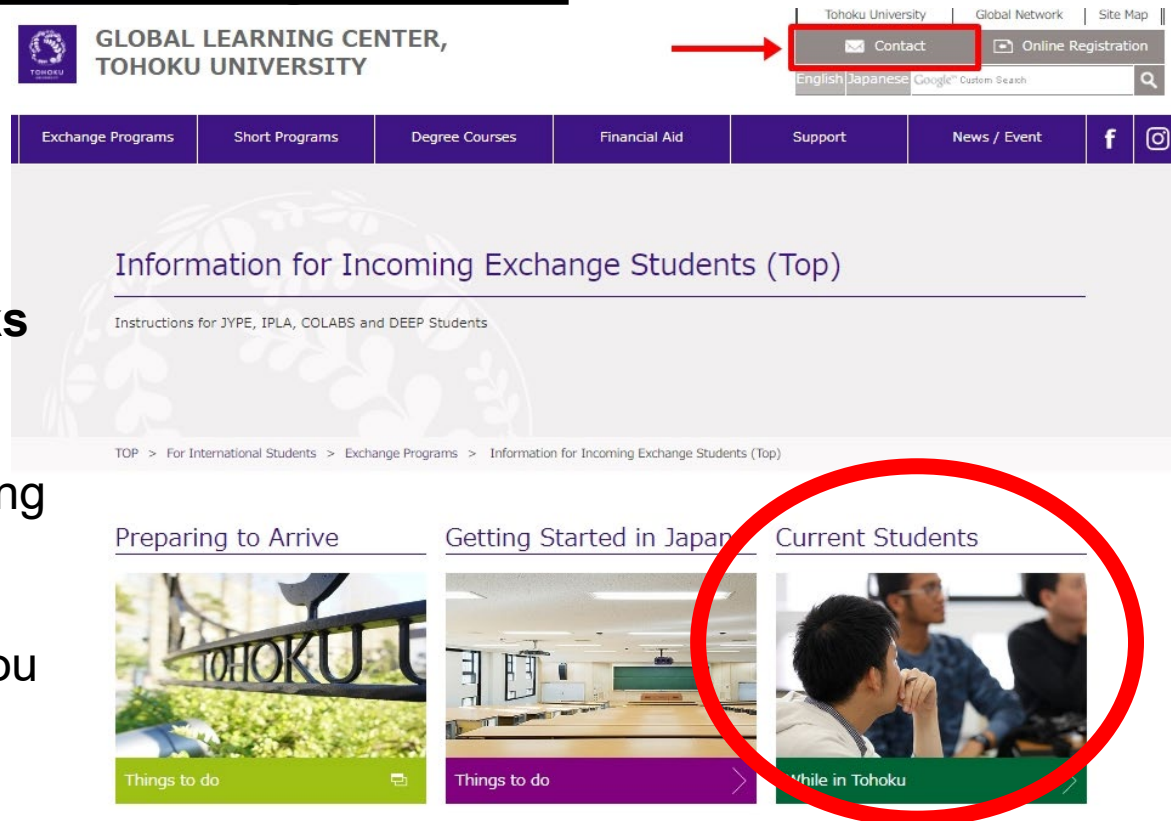
*Click the image for more information.

- Contact Form
- Certificate Request

When you send the Certificate Request...

*Please **allow at most two weeks** for the certificate to be issued.

*In case you are urgent in obtaining the certificate, please state **the reason and the date** on which you wish them to be issued in the "Special Request" field on the form.



Facilities on Campus

Campus Tour:

IPLANET will guide you through the campus facilities

- Lecture Halls
- Library
- Health Center / Counseling Center
- Cafeterias / ATM / University shop
- Director's office and academic advisers' offices
- Student Exchange Division
- International Student Help Desk



TOHOKU
UNIVERSITY

Counseling & Disability Services

東北大学 学生相談・特別支援センター
Center for Counseling and Disability Services

文字の大きさ

コントラスト

特別支援室TOPページへ

東北大学 学生相談・特別支援センター > 学生相談所HOME > ENGLISH

学生相談所

Counseling Office

The Counseling Office offers appropriate counseling to university students about problems in their everyday lives, including academic work, future plans, interpersonal relationships, personal traits, and mental health. We provide counseling, consultations, and referrals that can help you enjoy a more fulfilling university experience. We do not reveal any of your information shared during counseling sessions to anyone outside the Counseling Office. You do not have to worry about coming for advice on any problem of any sort. Please do not hesitate to visit us, even just to ask a question or talk about something that concerns you.

[How to Use the Services](#)

You can either come directly to the Counseling Office or arrange an appointment by phone or E-mail. If you make an appointment by E-mail, please write your name, affiliation, and contact: phone number/E-mail address, in the body of E-mail. Consultations can be conducted more smoothly if an appointment is made in advance. Counseling sessions are free of charge.

Hours: 9:30 am to 5:00 pm, Monday to Friday (except national holidays and the year-end and New Year holidays)
Tel: 022-795-7833 (direct line, only available in Japanese)
E-mail: [gakuso\[at\]ihe.tohoku.ac.jp](mailto:gakuso[at]ihe.tohoku.ac.jp)

[Access](#)

The Counseling Offices is located on the Kawauchi North Campus.
 Address: Kawauchi 41, Aoba-ku, Sendai-shi 980-8576

東北大学 学生相談・特別支援センター
Center for Counseling and Disability Services

文字の大きさ

コントラスト

学生相談所TOPページへ

東北大学 学生相談・特別支援センター > 特別支援室HOME > ENGLISH

特別支援室

Disability Services Office

The Disability Services Office provides information and advice on disability issues and facilities support for students with visual, auditory, physical, internal and/or developmental handicaps. Through consultations regarding problems and concerns in campus life including such areas as classes, examinations and research, we will respond by working together with the various units concerned and school personnel of individual departments for necessary support. Please feel free to consult us.

[Information on Activities](#)

We will discuss problems on an individual basis and provide the following supports and services to respond to the diverse needs of people with disability.

[Support for Study and Campus Life](#)

- **Classes and examinations:** Coordination for alternative measures for practical skills-based courses, taking examinations in a quiet or private location, etc.
- **Assurance of receiving information:** Providing note-takers, assistance with reading, etc.
- **Support equipment:** Providing FM hearing aid systems and portable Braille terminals, etc.
- **Offering a break room**

[On-campus Supporters](#)

We will dispatch on-campus supporters so that individuals can receive various types of support, including assurance of receiving information, and assistance with moving and writing.

[Barrier-Free Measures](#)

We will improve facilities in order to make moving around the campus more convenient.

[How to Use the Service](#)

You can either come directly to the Disability Services Office or arrange an appointment by phone or E-mail. Consultations can be conducted more smoothly if an appointment is made in advance.
Hours: 9:30 am to 5:00 pm, Monday to Friday (except national holidays and the year-end and New Year holidays)
Tel: 022-795-7696
E-mail: [t-sien\[at\]ihe.tohoku.ac.jp](mailto:t-sien[at]ihe.tohoku.ac.jp)

*Click the image for more information.

Emergency Info

110 Police

119 Ambulance & Fire Department

Earthquakes

Most of the earthquakes you will experience will be minor. However, caution is always needed.

- ◎ 9:00-17:00 on weekdays:
studyab@grp.tohoku.ac.jp 022-795-3745
- ◎ Other hours: kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp

Insurance

Have you already purchased/signed up?

1. National Health Insurance (at Ward Office)
2. GAKKENSAN (pay by ATM)
3. Inbound futai-gakuso (pay by ATM)



TOHOKU
UNIVERSITY

- Admission Discount
- University Libraries
- Excursions and Events

Visit the [Current Student page](#) for more information.

Student Housing

- Tohoku University is committed to providing housing to students from partner universities.
- Yet, the capacity is very limited.
- You cannot change rooms during your stay.
- Residents must pay the rent and other fees by the due date.
- Please respect the regulations and rules.
- Those who are asked to leave the dormitory will not be able to continue with IPLA.

IPLA Support Team

Director of IPLA	
Prof. Kazuko SUEMATSU	kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp
Academic Advisors	
Prof. Kazuko SUEMATSU	kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp
Prof. Rumi WATANABE	rumi.watanabe.c5@tohoku.ac.jp
Prof. Yukiko SHIMMI	yukiko.shimmi.e8@tohoku.ac.jp
Japanese Program Coordinators	
Prof. Wataru NAKAMURA	wataru.nakamura.a8@tohoku.ac.jp
Ms. Huja BACKLAY	huja.backley.d7@tohoku.ac.jp
Prof. Natsue SUGAYA	natsue.sugaya.e1@tohoku.ac.jp
Student Exchange Division	
Ms. Nozomi ONUMA (IPLA coordinator)	studyab@grp.tohoku.ac.jp
Mr. Shu ITO (Chief)	
IPLANET Group of Tohoku University Students	
Your Buddy (tutor) Tohoku University Student	

その他

★次回のチューターガイダンスへも出席すること

★IPLANETの活動になるべく参加すること

★IPLAチューター専用サイト

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/ipla-tutor/>



チューター制度とは？

チューター制度は、大学等に在学する外国人留学生に対して、指導教員の指導の基に大学等が選定した「チューター」により学習・研究についての個別支援を行い、留学生の学習・研究効果の向上及びすみやかな環境への適応を図ることを目的としています。

東北大学でも、入学または交換留学開始後間もない外国人留学生1名につき原則1名のチューターを配置しています。週2時間を目安に日本語、学習、生活適応の面でサポートすることが期待されています。

チューターの資格

- チューターは、留学生の指導教員の推薦に基づき、原則として留学生の専攻する分野に関連のある学生(学部生・大学院生)を選定します(外国籍の学生でも可、ただし、交換留学生は不可)。
- チューターは留学生の身分より高い学生身分(学位や学年)が望ましいですが、留学生が期待する指導等の内容によっては学生の身分は限定されません。